

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立三方原小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 各委員間での学校運営協議会の理解は進んでいる。今後、保護者や地域における学校運営協議会の認知度をより一層高めていく。
- 学校運営方針の知育・徳育・体育のバランスを意識しながら、キャリア教育を推し進めていく。今後も目標を明確にして子供たちの自主性を高めたい。
- 学校支援活動をより具体化させ、学校・家庭・地域が連携を推進していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校運営の基本方針といじめ防止の基本方針についての説明を受け、理解を深めるとともに学校の育てたい力について熟議することができた。
- ・地域とPTA、学校との関係性を強めていくことが大事になると感じた。
- ・全国学力学習状況調査と学校評価アンケートの結果を資料として、学校の子供たちの現状を知ることができた。
- ・学校運営協議会終了後に、実際に授業の様子も見ることができ、理解が深まった。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校からの情報発信で、学校の課題やニーズについて理解することができた。
- ・PTAの現状について説明できる機会があった。地域、社会、学校が連携して取り組むことの大切さが理解され、よい熟議となった。
- ・自治会でのボランティア募集の検討、回覧など、活動の役割分担について考えられた。
- ・これまで行ってきた学校支援活動や、学校での体験活動に地域の方々が参加することで、相互に良い交流の場になると感じた。
- ・委員同士のコミュニケーションがとれ、有意義な活動となった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議結果について、自治会の役員会で報告した。
- ・学校からの要請、要望に関するボランティアの募集をし、情報発信を行った。
- ・PTA非加入者の増加により、どこまで情報が行き届いているのかわからない。地域への働きかけをより充実させたい。
- ・会議録をもとに、PTA役員に協議結果について発信することができた。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・本校の良いところをさらに伸ばしていきたい。特に、元気なあいさつができることや、子供たちの自主性を伸ばすために、地域でできることを具体化して呼び掛けたい。
- ・PTA活動の改善内容について理解を深めていきたい。
- ・いじめ防止や不登校についての内容理解に取り組みたい。